

おむすび

四

地元企業における人材確保のヒント

「地域の企業」と「芸工大」をむすぶ



リノベーション専門建築家 川上謙

おむすび 2017年11月30日発行 発行：東北芸術工科大学後援会 〒980-8530 山形市上桜田3-4-5 TEL:023-627-2000 WEB: http://www.tuad.ac.jp/attach/dns/radkouenka/ Mail: kouenka@gaga.tuad.ac.jp 印刷：田宮印刷株式会社

株式会社ア・ファクトリー
 株式会社アートエッグ
 株式会社赤湯観光バス
 税理士法人あさひ会計
 東の麓酒造有限公司
 株式会社荒正
 株式会社市村工務店
 羽陽建設株式会社
 うるしやまタクシー株式会社
 株式会社エイアンドシー
 NTTタウンページ株式会社東北営業本部
 株式会社エフエム山形
 株式会社エル・サン
 遠藤商事株式会社
 株式会社オーイン
 株式会社大風印刷
 株式会社大久保硝子店
 太田産商株式会社
 株式会社大沼
 小野建設株式会社
 オビサン株式会社
 オリエンタルカーペット株式会社
 株式会社カスカワスポーツ
 月山観光開発株式会社
 株式会社上山温泉ホテルあづま屋
 技研株式会社
 株式会社軒屋本店
 株式会社きらやか銀行
 株式会社きんでん東北支社
 黒澤建設工業株式会社
 株式会社建築テクノ
 弘栄設備工業株式会社
 株式会社小松写真印刷
 株式会社彩画堂
 株式会社蔵王サプライズ
 株式会社蔵王ミート
 酒井造園
 株式会社栄屋ホテル
 株式会社志鎌園
 株式会社シベール
 株式会社ジョインセレモニー
 株式会社荘内銀行
 株式会社尚美堂
 進和ラベル印刷株式会社
 医療法人社団須田医院
 株式会社須藤電機
 セコム株式会社山形統轄支社
 株式会社セロン東北
 全国農業協同組合連合会 山形県本部
 株式会社大商金山牧場

株式会社ダイバーシティメディア
 大和証券株式会社 山形支店
 株式会社高橋型精
 宝化成機器株式会社
 株式会社タキザワ
 株式会社滝の湯ホテル
 株式会社田中工務店
 田宮印刷株式会社
 株式会社丹野こんにやく
 株式会社千歳館
 株式会社千歳建設
 千歳不動産株式会社
 株式会社塚田会計事務所
 株式会社つたや
 有限会社ツルヤ商店
 株式会社テトラス
 株式会社天童木工
 株式会社でん六
 東栄コンクリート工業株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社
 東武トップツアーズ株式会社山形支店
 有限会社東北環境総合サービス
 東北電化工業株式会社
 東北電力株式会社
 東北パイオニア株式会社
 トーエイ工業株式会社
 TOTO 株式会社 東北支社
 株式会社とみひろ
 株式会社トヨタレンタリース山形
 内外緑化株式会社
 有限会社長門屋
 株式会社にしむら
 株式会社旅館古窯
 株式会社ニューテックシンセイ
 沼澤歯科医院
 有限会社ネットワークの里
 野川商事株式会社
 株式会社ハイスタフ
 株式会社ハイテックシステム
 株式会社羽田設計事務所
 株式会社八文字屋
 東日本電信電話株式会社 山形支店
 ファースト興産株式会社
 藤庄印刷株式会社
 富士ゼロックス株式会社
 富士ゼロックス北日本株式会社
 布施弥七京薬店
 平成タクシー株式会社
 株式会社ホテル月の池
 株式会社本間利雄設計事務所

丸善雄松堂株式会社仙台支店
 ミクロン精密株式会社
 みずほ銀行山形支店
 株式会社南東北クボタ
 メイク美創株式会社
 有限会社名月荘
 株式会社メフォス山形事業部
 株式会社モス山形
 株式会社ヤガイ
 有限会社矢口
 株式会社山形アドビューロ
 山形いすゞ自動車株式会社
 農事組合法人山形おきたま産直センター
 山形ガス株式会社
 株式会社山形銀行
 山形空港ビル株式会社
 株式会社山形グランドホテル
 株式会社山形県観光物産会館
 株式会社山形県自動車販売リサイクルセンター
 山形建設株式会社
 公益社団法人山形県宅地建物取引業協会
 山形県民共済生活協同組合
 株式会社カキザキ 山形国際ホテル
 山形酸素株式会社
 山形市農業協同組合
 山形食品株式会社
 株式会社山形新聞社
 山形信用金庫
 山形ゼロックス株式会社
 株式会社山形テレビ
 山形トヨタ自動車株式会社
 山形農業協同組合
 山形パナソニック株式会社
 株式会社山形ビニール商会
 株式会社山形ビルサービス
 山形放送株式会社
 山形陸運株式会社
 株式会社ヤマコー
 山新観光株式会社
 株式会社山新広告社
 株式会社山本組
 悠湯の郷 ゆさ
 株式会社吉田段ボール
 恵楚画廊
 リコージャパン株式会社 東北営業本部山形支社
 両羽協和株式会社
 菱機工業株式会社 仙台支店
 有限会社レンタルプラザ
 渡辺包装株式会社

後援会員

149社(平成29年11月30日現在)五十音順

寄附のお願い

本学の教育理念とその実現に向けた取り組みにご賛同・ご支援いただける方々からの寄附を毎年募っております。
 1口10,000円とし、2口以上にて承っております。詳しくは大学webサイトまたは寄附金担当までご連絡ください。ぜひあなたがい篤志をお寄せくださいますようお願いいたします。
 ※本学に対する寄附金は、個人、法人それぞれ税制上の優遇措置を受けることができます。

企画広報課 寄附金担当

TEL: 023-627-2246

Mail: hojin@agatuad.ac.jp

Web: http://www.tuad.ac.jp/donation/



寄附金は、在学生に対する教育活動・学生生活・課外活動支援、就職・進路支援、環境整備などに活用いたします。

地元企業における 人材確保・採用活動のコツ

優秀な人材は企業にとっての生命線。

ところが2017年の現代、全国的に人手不足の危機に直面しています。

地方では若者人口が減少の傾向にあり、

人材不足はさらに深刻化していくでしょう。

そこで今回は採用にまつわるアドバイスをいただくため、

基盤教育研究センターの准教授であり、

就職部長の栗野武文先生のもとをお訪ねしました。

働き手から選ばれる企業になるには？

いい人材を振り向かせるコツとは？

学生と企業の間立ち、就職活動を支援する栗野先生に、

この人手不足の荒波を切り抜けるヒントを伺いました。



最近の就活生には どんな傾向がありますか？

われたものが、仕事に生かされることも
あります。長い目で見て採用することが、
企業と学生の双方にとって可能性を広
げることとなりますね。

リクルート調べによると、2018年
3月卒の大卒有効求人倍率は1.78倍
(図1)。これは近年でもっとも高い数値
であり、完全なる売り手市場ですが、す
べての学生が自分の専門分野と直結す
る仕事につけるとは限らないものです。

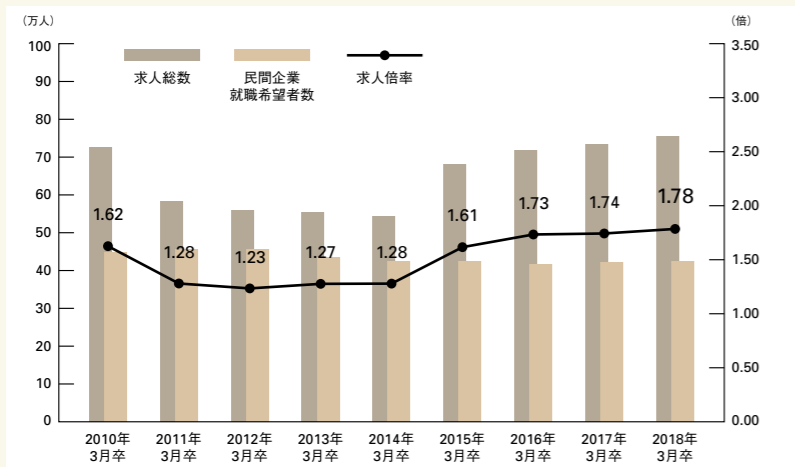
そこで最近、「就活を通じて「自分はど
う生きていくのか」を考える学生が増
えつつあります。芸術学部の場合、と
ワークライフバランスを保ちながら働き、
プライベートの時間を制作にあてる生き
方。ここ数年では、漆芸や陶芸を専攻し
た学生が、銀行へ入行したケースもあり
ました。

たとえ仕事と自分の専門性が離れてい
ても、働くなかで新しい方向性が見えて
きたり、自分の意外な強みを発見する
ことも多くあります。
企業にとっても、学生の専門性がいつか
事業の役に立つかもしれないし、芸術・
デザインのスキルを身につける過程で養

デザインや芸術的なセンスの ほか、芸工大生には どんな強みがありますか？

芸工大生は与えられた課題に対して、コ
ツコツと集中して取り組む姿勢がピカイ
チです。また、協調性も高い傾向にあり
ます。学科によっては1年生からゼミの
スタイルで学び、グループでプロジェクト
を進めたり、地域の人と関わることで、コ
ミュニケーション力も鍛えられていく。こ
れは実践型による本学の強みといえます。
「デザインや芸術の学校ですよね？うち
には関係ないので…」と企業の方から言
われることがあります。それはいい人
材と出会うチャンスが大きく逃している
かもしれません。デザイン力や芸術力と
は、企業が成長していくうえで有効な力

図1：求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移



引用：リクルートワークス研究所
「第34回ワークス大卒求人倍率調査」
(2017.4.26)

基盤教育研究センター准教授・就職部長

栗野武文

あわの・たけふみ／1977年、山形市出身。
総合人材サービス企業にて企業向け新卒
採用コンサルティング、新入社員研修、就
活サポートに従事。経験を生かし、2013
年より山形大学にて長期インターンシップ、
キャリア教育を担当。2015年山形大学基
盤教育ベストティーチャー新人賞を受賞。
2017年より現職。



です。そこを企業の皆さんにもっと知っていただけるよう、本学の課題として努めていきたいと思えます。

地元企業に人を集めるには どうすればいいですか？

山形では人口減少が進み、経済規模も縮小の傾向にあります。そのなかで企業が生き残り、人を集めるためには、新しいことに挑戦する姿勢が欠かせません。つまりはイノベーションです。

イノベーションとは、技術を革新したり、これまでにない発想で新たなサービス・商品を生み出すこと。新しい販売市場の創出や、新しい買い付け先の開拓など、広い範囲の革新を意味しますから、多くの業種に当てはまることです。

製造業の例でいうと、鶴岡市に本社をおく繊維企業（スパイバー）はまさしくイノベーションの塊といえます。クモの糸を人工的につくり、繊維に変える技術に挑戦して見事成功をおさめました。その斬新なアイデアと開発力で、世界中から

山形にまで人が集まってきていますよね。イノベーションは結果がすぐに出るとは限らないので、投資になります。目の前の事業に予算を使うことが合理的に思えるかもしれませんが、この企業で働きたいと働き手から「選ばれる企業」になるためには、長い目で考えて戦略を練る必要があります。

厚生労働省による労働経済の分析では、日本は先進国の中でイノベーションが低い国だという結果が出ています（図2）。しかし、裏を返すとこれから伸びていく分野ともいえる。今年の夏休みに複数の県内企業を回ったのですが、いくつかの企業でイノベーションにつながる分野を求めつつあると感じました。山形でも変化の兆しが見えてきています。

イノベーションを実現するのに 必要な要素とは？

イノベーションは、誰もが簡単になし得ることではありません。そこには柔軟な発想を基盤とした企画力やデザイン力

が求められます。最近では、県内の小売、製造、マスコミなど、幅広い業種の企業がクリエイティブな力を求めるようになってきています。本学では産学連携プロジェクトが盛んに行われており、企業のイノベーションに関わった事例がいくつかあります。企画構想学科とグラフィックデザイン学科の場合、南陽市の〈東の麓酒造〉とコラボレーションして新しい日本酒ブランドを立ち上げました。若者目線の新しいコン

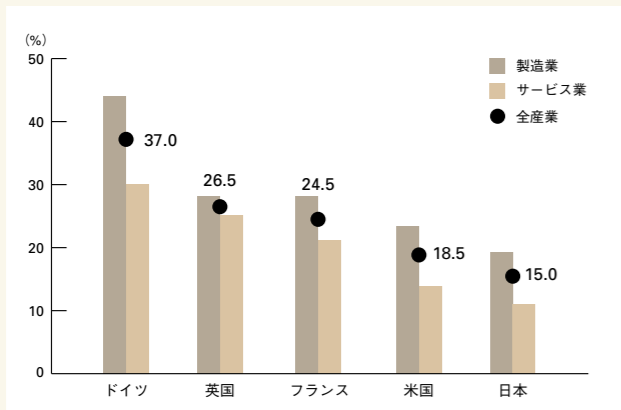
セプトとパッケージデザインが好評を博し、売り上げに大きく貢献したようです。専門性が高い本学では、就活中の3年生に限らず、できるだけ早いうちから社会と接点を持つよう指導しています。様々な業界を知ってから専門性を高めるのは素晴らしいことですが、専門しか見ないまま専門に進むこと、いくつかのジャンルに触れてから専門に進むことでは、大きな違いがあるからです。多くのことに接して、広い視野をもつことで、専門性がさらに磨かれ、イノベーションにつながる柔軟な発想力が育まれていきます。

採用活動でおさえるべき ポイントは？

まずは、企業の存在を学生に知ってもらうことから始める必要があります。

山形の企業を調べてプレゼンする授業プログラムがあるのですが、山形出身の学生でも、驚くほどに山形の企業を知らず、名前があがったのはほんの数社でした。

図2：イノベーションの実現状況



引用：厚生労働省「平成29年版 労働経済の分析」(2017.Sept.)
注)イノベーションの実現割合は、日本が2012～2014年、米国が2008～2010年、その他の国は2010～2012年に、イノベーション(プロダクトイノベーション)を実現した企業の割合。



グループワークなど能動的な取り組みが多いキャリアの授業



コミュニティデザイン学科では実際に地域に入り、課題解決プロジェクトに取り組む



グラフィックデザイン学科で行った大蔵村のブランディング



東の麓酒造とのコラボレーション商品「天弓」記者会見の様子

企業の方々が思っている以上に、学生は企業が存在を知らないと思っていたいたほうがいいかもしれません。

都内の大手企業では採用の広告費だけで何千万もの費用を当てるなど、企業PRに力を入れています。広告に大きな予算が当てられない企業では、採用担当者向けに研修費を出したり、社内採用にかける人材を増やしたりすることも、効果は得やすいでしょう。

さらに、地元企業ならではの地縁とネットワークを生かして、積極的に学生との接触の場を増やすことが企業を知ってもらう近道となります。

学生と接する

機会を増やしたいのですが、どんな手段がありますか？

本学では「キャリアカフェ」というイベントを今年から始めました。地元企業の方をお呼びして、1〜3年生とざくばらんにお話いただく会で、前期と後期

に1回ずつ開催し、後期は銀行、放送局、自治体、損保、食品製造系など、幅広い業種にお越しいただいています。

学生たちにはできるだけ早いタイミングで、企業や自分の専門分野外について知ってもらい、企業の皆さまにも、就活中の3年生のみでなく、1〜2年生とも接して学生のニーズを吸い上げていただきます。

インターンシップも有効な手段です。学生を職場に招き入れることで、企業のことを具体的に知ってもらえますし、社員にとってもメリットがあります。若い社員の場合、自分が学んできたことをアウトプットする場は少ないでしょう。学生を受け入れることで、自分が教える立場になり、自分の業務を再確認するいい機会にもなります。さらに、会社全体としても「学生にいい印象を残そう」と働きかけるので、職場が活性化します。

インターンシップは、プログラムさえ考えればお金をかけずにできる制度です。実施に興味がある企業様は、私までご連絡ください。学生との橋渡しや期間、プログラムについてのご相談も承ります。

どのように自社を魅力づけたいですか？

地方の中小企業の場合は、社長や先輩社員など「人」による魅力づけがポイントになります。現在、地域から信頼される企業は、仕事内容だけでなく、社長や社員などの人柄に魅力があるはずなんです。それをどうアピールするかになりますね。

その方法のひとつとして、学内の企業説明会に参加していただくことが有効です。さらに、社長や社員の方自らが講師となり、仕事のやりがいや自社の特徴について授業でお話しいただくのもいいですね。通常のイベントでは学生の集客に苦勞したり、層が読みにくい場合もあります。授業にすることで、学生がそろった安定した環境でお話しいただけます。

そのほか、企業様から「学生とこんなことをしてみたい」というご提案があればお待ちしております。「こんな新卒社員がほしいのですが」とご連絡いただければ、学生とのマッチングも可能です。

いずれは採用担当者の皆さまにお集まりいただき、企業間での情報交換の場を設けることも検討しています。本学が学生や地元企業の皆さまとのハブになっていけるよう、今後も努めていきたいと思えます。

POINT 01	学生は企業の存在を知らない まずは知ってもらうことから
POINT 02	働き手から選ばれる企業になるためには、 イノベーションへの挑戦がカギ
POINT 03	インターンシップの実施、就活イベントへの 参加など、学生と触れる機会を増やしていく

キャリアセンターのご案内

東北芸術工科大学では、学生の進路支援をするため、また学生と企業を結ぶ窓口としてキャリアセンターを設置しています。キャリアセンターでは、合同企業説明会や進路ガイダンスの企画・運営はもちろんのこと、採用に関わる相談なども受け付けています。また、学生への求人情報の提供も積極的に行的っており、ハローワークだけでなく、芸工大へ求人情報をお寄せください。



◎東北芸術工科大学キャリアセンター
TEL: 023-627-2194 / FAX: 023-627-2358
Mail: career@aga.tuad.ac.jp



地元企業の方と学生がざくばらんに話し交流するキャリアカフェ



合同企業説明会や勉強会を学内で定期的に行っている



特集2

地域をおもしろくする卒業生

リノベーションの力で、
東北の新しい住まいづくりを
切り開く

川上謙さん

(2010年度大学院環境デザイン領域修士)

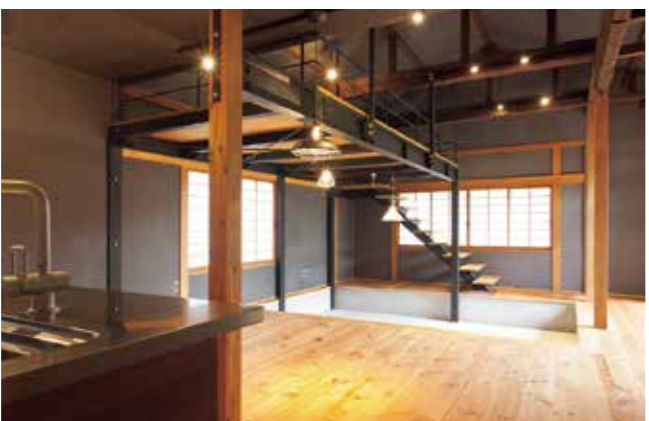
仙台・山形におけるリノベーション業界の第一線で活躍し、注目を集める若手建築家の川上謙さん。
本学大学院の環境デザイン領域を卒業後に
仙台市へ拠点をうつし、2015年には建築事務所
〈LIFE RECORD ARCHITECTS〉を設立しました。
個人住宅のリノベーションを中心に、
新築住宅や公共スペース、オフィス、店舗のデザイン、
さらにメディアやイベントのサポートも手がけるなど、
幅広く活動しています。
今回は天童市にて施工中の現場を訪れ、お話を伺いました。
地域に根を張り、つねに挑戦を続ける川上さんの原動力と、
東北におけるリノベーションの「いま」に迫ります。

東北でリノベーションの種をまく

在学中からローカルに興味があり、卒業後はそのまま山形に残って働きたいと考えていました。しかし、教授からのアドバイスもあり、一度外で経験を積もうと大阪の設計事務所を訪れたところ、その日がまさかの2011年3月11日。仙台に実家があるので急遽戻る決断をして、その流れでリノベーションを手がける仙台の工務店に就職しました。

当時は首都圏でリノベーションが注目され始めたばかり。仙台や東北での認知度はかなり低いものでした。どうやったら魅力が伝わり普及させられるか、頭を抱えましたね。

リフォームとは、100あったものが70に減って、また100に戻す、いわゆる現状復帰。リノベーションは、100あったものを最終的に150にする、付加価値をつけるものです。まずはリフォームの中に少しずつリノベーションの要素を足していき、小さな事例をつくって、それを発信することを繰り返してきました。現在は東北でも「リノベーション」という言葉自体は普及したものの、本来の良さはまだ伝わりきっていない状態です。これからも地道にいい事例を増やしていくのみです。



川上さんがリノベーションした住宅

まちに変化をもたらす、
リノベーションの可能性

リノベーションに興味を湧いたのは、学生時代に携わったシェアハウスのプロジェクトがきっかけです。

建築・環境デザイン学科で〈山形R不動産〉という山形のユニークな物件を紹介するウェブサイトが立ち上がり、山形市の中心街を歩いて空き物件を探すことになりました。そこで莫大な量の空き家に直面し、中心市街地の現状に愕然としてしまつて。まずは自分たちで何かを始めようと、地域の方々に物件の使用アイデアをプレゼンしたところ、ご縁があつて歴史ある旅館を使用させてもらえることになりました。

自分たちの手でリノベーションして、歴史ある旅館が若者の集うシェアハウスへと生まれ変わりました。当時の中心市街地にとっては斬新な事例になつたと思います。

さらに、このプロジェクトはリノベーションの先におもしろさがありました。自分も2年間そこに住み、シェアハウスを運営することになったのです。住人同士で日常的に意見交換して、部屋をギャラリーとして開放したり、ときにはイベントを計画したりと、暮らしながら考え

実験していく、刺激的な毎日でした。このプロジェクトからは多くのことを学びました。リノベーションは高い専門知識がなくとも自分の手を動かせば実現できる、実験的で身近な手法であること。そして、建物は完成したら終わりではないこと。その空間で何をしていくか、それが周辺地域にどんな影響を与えるのか。実践を繰り返す事で完成後の使われ方やまちにもたらす変化を実感して、リノベーションの可能性を確信しました。

なにより大切なのは、
人とのつながり

「なぜ東北で？」と聞かれることがありますが、理由は「人」です。学生時代から周りにはいつも魅力的な人たちがいて、この土地の多くの人にお世話になってきました。自分の役割は、そんな魅力的な人たちを建築を通じてサポートすること。その人たちの思いを実現するお手伝いができれば嬉しいんです。そうすることで、人とのつながりがさらに広がり、自分が関わられる場所が増えていき、

点が増えて線になっていく。それが東北のまちに少しでもいい影響を与えられたら嬉しいし、自分もこのまちをもっと好きになります。

もうひとつ理由をあげるとすれば、デザインやアートの業界で働く仲間たちが活躍できる場を増やすこと。学生時代に出会った人たちは優秀な人材がたくさんいました。彼らは山形や東北に愛着がありながらも、そこでは自分に合う仕事が見つけれず、就職先を求めて都心部へ出ていくことが多かったです。今、自分は東北でリノベーションを中心に活動しながら、彼らが活躍できる場を開墾している状態です。ゆくゆくは仲間たちと一緒に東北をおもしろくしていけたらと思います。

倉庫を住宅に？

東北の新しい住まいづくりへの挑戦

現在、天童市で倉庫を住宅にリノベーションする案件を進めています。この物件はもともと大工さんが木材や機材を保管するために使用しており、倉庫ならではの仕切りがない広い空間、さらに立派な梁と2つの大

きな開口部が特徴です。1階は空間を大きく使い、ペレットストーブを入れたメインのリビングに、2階は天井の高さを生かした、開放的な寝室とセカンドリビングになります。そもそも倉庫と住宅では、根本的な構造や建築基準が異なります。今回は倉庫のデメリットを補完しつつ、メリットをさらに引き出すという、新しいリノベーションに挑戦しています。

まずデメリットは、断熱がほぼゼロなこと。充填断熱をして、さらに付加断熱をすることで、通常の住宅よりも断熱性を高めます。一方で、メリットは耐震基準が住宅より高いことなので、構造はそのまま生かしてデザインします。つまり、断熱性も耐震性も高い、東北暮らしに最適なハイブリット型の住宅になるわけです。

リノベーションというと空間デザインに注目されがちですが、目に見えない部分の補強が快適さに直結します。学生時代には、建築における断熱の先駆者、竹内昌義先生のゼミで学び、芸工大のふもとにある「山形エコハウス」では、基礎設計から関わらせていただきました。一度「山形エコハウス」を訪れて、その快適さを実感してほしいのです。断熱性能を上げることで、夏は涼しく、冬は暖かい家になります。



旅館をリノベーションしたシェアハウス〈ミサワクラス〉

特に東北の冬は氷点下にもなるので、暖房で消費されるエネルギーは少なくありません。快適性だけでなく、省エネとしてもエコハウスは非常に有効なんです。

この物件もエコハウスで学んだ知識を生かしながら設計を進めています。この事例が誕生することで、倉庫から住宅へのリノベーションが住まいづくりの新しい選択肢のひとつになれば嬉しいですね。

2018年1月末には完成の予定で、その後、半年間はモデルルームとして一般公開することになりました。お気軽にお越しいただき、快適で安全な住まいのあり方を体験してほしいと思います。



LIFE RECORD ARCHITECTS
Web: <http://www.life-record.jp/>



山形エコハウス

以下の時間帯で見学が可能です
・平日10:00～16:00
・毎月第3土曜日10:00～16:00
NPO法人環境ネットやまがた
TEL:023-679-3340